

# 北信越高校生ものづくり審査 化学分析部門



## 加藤さん(科技3) 田辺さん(敦賀工3) 優秀賞

高校生ものづくりコンテスト北信越大会がこのほど開かれ、化学分析部門で科学技術高3年の加藤葵衣さん(17)と敦賀工高3年の田辺奈さん(17)が、共に優秀賞を獲得した。毎日の地道な練習で培った実験器具の正確な扱い方や、時間内に分析を終える素早さ、色

高校生ものづくりコンテスト北信越大会化学分析部門で優秀賞を獲得した加藤さん(右)と田辺さん(左) 19日、福井市の科学技術高

の変化で化学反応を見極める能力を存分に発揮した。2人は「全国大会出場は逃したが、自分のベストは尽くせた」と充実感を漂わせた。

北信越大会は5、6日に富山市で開かれ、化学分析部門は5県の代表10人が出場した。2種類の試料水の硬度と、水中のカルシウム、マグネシウムの硬度を2時間半の制限時間内に分析。値の正確さや報告書の記載内容などが審査され、最優秀賞1人、優秀賞2人、奨励賞2人の上位5人が表彰された。

県大会を1位で勝ち上がった加藤さんは昨年も北信越大会に出場したが、硬度を求めるために必要な試料水の色の変化の見極めがうまくいかず、悔しい思いをした。そのため「色

の判定が安定して正確に分かるよう何度も練習を積み重ねた」と振り返った。県大会の1週間前から毎日5時間以上練習してきたという田辺さんは、練習で苦戦していた「制限時間内に終わらせる」という壁を乗り越えることができた。

「カルシウムの硬度を測る待ち時間などを有効活用して、時間短縮に力を入れた」と語った。

加藤さんは「先生の支えがあったから優秀賞を獲得できた。将来は陸上自衛隊の化学科で研究をしたい」。田辺さんは「今までやってきたことが結果としてついてきてよかった。目標である美容師になるための国家資格の試験などで、集中力や忍耐力を生かせると思う」と話した。

(柴田隼玖)